



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 フィード・ワン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2060 URL <https://www.feed-one.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 庄司 英洋
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務経理部長 (氏名) 望月 弘次 TEL 045-211-6520
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	71,973	△3.1	1,476	13.8	1,862	14.8	1,637	25.6
2025年3月期第1四半期	74,288	△6.9	1,297	9.3	1,623	11.4	1,304	41.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,946百万円 (7.8%) 2025年3月期第1四半期 1,805百万円 (△4.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	42.85	—
2025年3月期第1四半期	34.09	—

(参考)

	EBITDA	
	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,869	11.6
2025年3月期第1四半期	2,570	12.0

(注) EBITDA＝経常利益＋支払利息－受取利息＋減価償却費及びのれん償却費

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2026年3月期第1四半期	126,147		56,479		44.2
2025年3月期	124,172		55,347		44.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 55,753百万円 2025年3月期 54,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	14.50	—	21.00	35.50
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 2026年3月期（予想）中間配当金の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	311,000	5.1	6,800	7.2	7,000	3.1	5,200	△3.5	136.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 一、除外 2社 (社名) 苫小牧飼料株式会社、東北飼料株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	38,477,128株	2025年3月期	38,477,128株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	253,117株	2025年3月期	253,018株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	38,224,071株	2025年3月期1Q	38,264,221株

(注) 期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行 (信託口)」が保有する当社株式 (2026年3月期1Q 251,560株、2025年3月期251,560株) が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行 (信託口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2026年3月期1Q 251,560株、2025年3月期1Q 166,960株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示し、当社ホームページにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年6月30日まで）のわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかに改善しているほか、インバウンド消費の拡大等により回復の兆しが見られました。一方で、米国の関税政策の影響や中東・ウクライナにおける地政学リスクの長期化により世界経済の減速が予想されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、主原料であるとうもろこし価格は、主産地である米国において作付けが順調であることに加え、南米産とうもろこしの豊作期待により低下しております。これを受け、当社の当四半期（4-6月期）の畜産用配合飼料価格は前四半期（1-3月期）に対し値下げとなりました。

畜産物相場につきましては、豚肉相場は期中の平均では前年同期を下回りましたが、6月以降は、昨夏の酷暑による母豚の受胎率低下を主因に出荷頭数が減少し、急激に上昇しました。鶏卵相場は、昨秋から年始にかけて、各地で発生した鳥インフルエンザの拡大による飼養羽数の減少により供給が逼迫し、前年同期を上回って推移しております。

こうした環境にあって、当社グループは2025年3月期を初年度とする「中期経営計画2026～1st STAGE for NEXT 10 YEARS～」の達成に向けて、資本コスト経営を意識した「積極的な設備投資」、「製造の効率化」、「グループ経営の高度化」、「人的資本への投資」を経営戦略の軸に取り組みを進めてまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は719億7千3百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は14億7千6百万円（前年同期比13.8%増）、経常利益は18億6千2百万円（前年同期比14.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億3千7百万円（前年同期比25.6%増）となりました。

また、設備投資計画の確実な実行と資本コストを意識した経営を実現するため、EBITDA及びROICを経営指標として導入しております。当第1四半期連結累計期間のEBITDAは次のとおりであります。

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比 (%)
経常利益	1,623	1,862	+14.8
支払利息	37	56	+50.2
受取利息	0	0	+33.0
減価償却費及びのれん償却費	910	951	+4.4
EBITDA	2,570	2,869	+11.6

(注) EBITDA＝経常利益＋支払利息－受取利息＋減価償却費及びのれん償却費

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

① 畜産飼料事業

セグメント売上高は564億1千5百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益は23億1千8百万円（前年同期比10.6%増）、セグメントEBITDAは29億8千1百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

畜産飼料の販売数量・平均販売価格ともに前年同期を下回ったことで減収となった一方、収益環境の改善が進んだことにより、増益となりました。

② 水産飼料事業

セグメント売上高は52億8百万円（前年同期比22.4%減）、セグメント利益は3億2百万円（前年同期比47.0%増）、セグメントEBITDAは4億4千2百万円（前年同期比33.8%増）となりました。

水産飼料の販売数量が減少したことで減収となったものの、平均販売価格が前年同期を上回ったこと等で収益環境が改善したことにより、増益となりました。

③ 食品事業

セグメント売上高は103億4千5百万円（前年同期比15.2%増）、セグメント損失は1千4百万円（前年同期は7千3百万円のセグメント利益）、セグメントEBITDAは4千4百万円（前年同期比60.7%減）となりました。

食肉部門は、前期・当期とも赤字となりましたが、豚肉相場が前年同期をやや下回って推移したこと及び収益構造の強化を進めた結果、赤字幅は縮小しております。鶏卵部門は、鶏卵相場の高騰により仕入コストが上昇した影響を受け、増収・減益となりました。

④ その他

セグメント売上高は3百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は1千7百万円（前年同期比78.6%減）、セグメントEBITDAは1千7百万円（前年同期比78.4%減）となりました。

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。なお、海外事業は持分法適用関連会社のみのため、売上高の計上はなく、セグメント利益及びセグメントEBITDAは主に持分法投資損益の計上であります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、1,261億4千7百万円（前期末比19億7千4百万円増）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が16億8千2百万円減少、原材料及び貯蔵品が19億3千7百万円減少した一方、電子記録債権が12億4千1百万円増加、建設仮勘定が41億4千4百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、696億6千8百万円（前期末比8億4千2百万円増）となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が11億9百万円減少、短期借入金が30億4千9百万円減少した一方、長期借入金が47億1千6百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、564億7千9百万円（前期末比11億3千1百万円増）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が8億2千9百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、2025年5月8日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,342	9,812
受取手形及び売掛金	43,211	41,528
電子記録債権	4,437	5,679
商品及び製品	2,570	2,742
原材料及び貯蔵品	16,451	14,514
動物	392	411
その他	2,832	2,640
貸倒引当金	△152	△123
流動資産合計	80,085	77,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,019	12,949
機械装置及び運搬具（純額）	9,967	9,626
土地	6,255	6,549
リース資産（純額）	629	665
建設仮勘定	648	4,792
その他（純額）	787	924
有形固定資産合計	31,308	35,507
無形固定資産		
その他	1,552	1,503
無形固定資産合計	1,552	1,503
投資その他の資産		
投資有価証券	10,450	11,139
長期貸付金	8	85
破産更生債権等	171	168
繰延税金資産	205	211
その他	531	543
貸倒引当金	△141	△217
投資その他の資産合計	11,225	11,930
固定資産合計	44,086	48,940
資産合計	124,172	126,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,106	27,997
短期借入金	12,878	9,829
リース債務	129	137
未払法人税等	187	355
賞与引当金	790	1,200
その他	7,075	6,781
流動負債合計	50,168	46,302
固定負債		
長期借入金	14,400	19,117
リース債務	538	570
繰延税金負債	858	806
役員株式給付引当金	118	124
退職給付に係る負債	2,478	2,478
資産除去債務	58	59
持分法適用に伴う負債	117	122
その他	85	88
固定負債合計	18,656	23,365
負債合計	68,825	69,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	9,757	9,757
利益剰余金	32,338	33,167
自己株式	△210	△210
株主資本合計	51,884	52,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,659	2,952
繰延ヘッジ損益	△33	35
為替換算調整勘定	140	77
退職給付に係る調整累計額	△27	△25
その他の包括利益累計額合計	2,739	3,039
非支配株主持分	723	725
純資産合計	55,347	56,479
負債純資産合計	124,172	126,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	74,288	71,973
売上原価	66,483	64,111
売上総利益	7,804	7,861
販売費及び一般管理費	6,507	6,385
営業利益	1,297	1,476
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	116	129
持分法による投資利益	143	288
備蓄保管収入	36	34
その他	77	60
営業外収益合計	373	513
営業外費用		
支払利息	37	56
支払手数料	3	53
その他	6	17
営業外費用合計	47	127
経常利益	1,623	1,862
特別利益		
固定資産売却益	3	91
負ののれん発生益	338	—
特別利益合計	341	91
特別損失		
固定資産売却損	1	41
固定資産除却損	12	3
段階取得に係る差損	158	—
本社移転費用	8	—
特別損失合計	180	44
税金等調整前四半期純利益	1,783	1,909
法人税、住民税及び事業税	483	483
法人税等調整額	△36	△219
法人税等合計	446	263
四半期純利益	1,337	1,645
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,304	1,637

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,337	1,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	295	292
繰延ヘッジ損益	93	68
退職給付に係る調整額	2	1
持分法適用会社に対する持分相当額	76	△62
その他の包括利益合計	467	300
四半期包括利益	1,805	1,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,772	1,938
非支配株主に係る四半期包括利益	32	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	畜産飼料 事業	水産飼料 事業	食品事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	58,592	6,709	8,982	74,284	3	74,288	—	74,288
外部顧客に対する売 上高	58,592	6,709	8,982	74,284	3	74,288	—	74,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,007	11	6	1,025	0	1,026	△1,026	—
計	59,600	6,720	8,989	75,310	3	75,314	△1,026	74,288
セグメント利益	2,096	205	73	2,375	80	2,456	△833	1,623

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。なお、海外事業は持分法適用関連会社のためのため、売上高の計上はありません。

2 セグメント利益の調整額△833百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益△833百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融収支であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

畜産飼料事業において、当第1四半期連結会計期間に持分法適用関連会社であった道北協同飼料販売株式会社を追加取得により連結の範囲に含めたことに伴い、負ののれん発生益338百万円を計上しております。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	畜産飼料 事業	水産飼料 事業	食品事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	56,415	5,208	10,345	71,969	3	71,973	—	71,973
外部顧客に対する売 上高	56,415	5,208	10,345	71,969	3	71,973	—	71,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,392	35	4	1,431	0	1,431	△1,431	—
計	57,808	5,244	10,349	73,401	3	73,405	△1,431	71,973
セグメント利益又は 損失(△)	2,318	302	△14	2,606	17	2,623	△760	1,862

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。なお、海外事業は持分法適用関連会社のみのため、売上高の計上はありません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△760百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益△760百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融収支であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	910百万円	951百万円